

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report 10

2013 No.709

3 はじめの言葉

4 決められない日本の根源

少数派独裁の存在

田原文夫

日本政府が「国体」という言葉を使うたびに過剰反応する勢力がある。言うまでもなく「国民体育大会」のことではない。ごく普通に、国家体制という日本語表現に対してである。つまりは、日本が国家としてのあり方「国家体制(国体)」を論じ、あるべき姿を考えようとすると、周辺諸国からいろいろと言われる。弄られるという表現が適しているかもしれない。確かに、日本も近隣諸国と無関係に存在するわけではないことは承知である。相互に、それぞれ国々が配慮し合う姿勢は必要だとしても、節度を越えた論評は国家間の問題に発展する可能性がある。奇しくも、アラブの春と言われたアラブ諸国の国民の盛り上がりが目目されたが、それぞれ従前の国家体制すなわち国体が否定され、新たな国体づくりが目指されたかに見えた。特にこれら一連の動静を民主化への動きとして、世界中が絶賛するかのような雰囲気扱ってきているのは周知の通り。しかし、実際にはそれほど単純ではない。エジプトでは、前政権打倒後、選挙で選ばれた大統領が、国軍のクーデターによって追い落とされてしまっている。民主化と言っても、民主化の定義も考え方も認識も、実にそれぞれの国によって異なっているのである。我が日本においてだって、口では民主主義を正しく理解しているかのように民主化の重要性を言いながら、その意味合いを正確に認識しているとはとても思えないような国会議員の言動があるのには驚く。実に、万年野党時代が長かったせいだろうか、常に反対の立場にある少数意見に基づく独裁を旨とする言動に終始している国会議員があまりにも多い。これは驚くべきことだが、事実である。これこそが、長きに渡って日本に存在する「何ごとも決められない政治」の根源となっていると言っているいいだろう。改めて民主主義とは何か、民主化とは何かを考えさせられる。

1 1 情報社会を考える その 3 7

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

ポータルレス時代到来の指摘は早かった

ポータルレス時代の到来は、本格的なコンピュータネットワーク時代の前夜、1970年代から 80 年代にかけて、すでにそれを指摘する声があった。それはソフトウェアプロダクトがパッケージ製品として流通普及しようとしている黎明期でもあった。コンピュータ

のシステム価格がほとんどハードウェアコストで占められ、ソフトウェアは、オマケ的な感覚で抱き合わせ販売されていた時代でもあった。

そんな時代に、ソフトウェアプロダクト（パッケージ）だけを単独で流通（販売）させようとする専門業者が現れた。ハードウェアこそがオマケ的存在になり、ハードウェアを自社所有しない形のクラウドコンピューティング環境が喧伝される昨今の感覚からは、逆に想像できないかもしれないが、当時のソフトウェアプロダクトの販売マーケットを開拓することは、実に斬新、目新しい時代だった。

1 4 日本再生／世界競争力回復のカギ

何故 M-BIM 構築が必要か その 32

水田 浩

まちづくりの BIM:コンパクトシティ

町づくり仕様標準条例（Form-Based Codes、FBC）

FBC の作り方

コミュニティの評価を助けるための従来と異なる FBC のゾーニングを次の 3 ステップで実現する。

ステップ 1 コミュニティの考える地域を定義する（8 月号）

ステップ 2 その地域に関する既存の条件を評価する（9 月号）

ステップ 3 コミュニティのビジョン、FBC を作成し、決定する

提案する FBC 領域の周辺区域、地区、回廊、街並み、市民スペース、建物、道路などの詳細な図を分かりやすくして（可視化した計画）、それをワークショップ（写真 1）、シャレット、カギとなるコミュニティメンバーとの対話などに示して、いろいろな方法を繰り返して、出来るだけ多くの、出来れば全員のコミュニティメンバーの参加を要請する。

2 0 連載 アーキテクチャ論（30）

高保証アーキテクチャ開発法（2）

山本修一郎

前回、TOGAF V9.1 に基づく高保証アーキテクチャ開発手法（Assured Architecture Development Method）について、保証ケース（Assurance case）との関係と課題について説明した。今回も前回に引き続き、保証ケースによる高保証アーキテクチャ開発手法の実現に向けた取り組みについて紹介する。

まず、高保証アーキテクチャ開発手法と保証ケースの関係について説明する。次に、保証ケースによる定量的評価尺度の確認手法、保証ケースによるリスク管理手法、合成ディペンダビリティについて説明する。

3 0 JR 北海道に見る企業存続の危機

リスクマネジメントを考える

aism

企業等組織の存続を危うくするものを回避すること、これこそがリスクマネジメントの要諦である。それを根底から崩すような事態が JR 北海道で判明した。コスト最優先経営

の結果と言えるものだ。低成長時代、どんな組織でも目指しているコスト削減策が、企業存続を脅かす臨界線にまで導いた事例である。

3 3 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 4 8 回 映画館に革命をもたらす ODS

根本忠明

映画館に革命が起きている。大型スクリーンで音楽ライブ、演劇、スポーツ中継など、映画以外の多彩なコンテンツが楽しめるデジタルコンテンツ（ODS）を上映する映画館の登場である。1960 年代以降衰退を余儀なくされてきた映画館にとって、まさにパラダイムシフトといってよい。この ODS が大きな関心をもたれるようになるまでの経緯とその革新性について紹介する。

3 6 続インテリジェンスへのいざない 45

日本人を豊かにするために必要とされるインテリジェンス

今井 武

菓をも掴む気持ちというのだろうか、不透明ながらもアベノミクスに期待があるようだ。というより、低成長に国民が疲弊してきているのだろうか。しかし企業だけが生き残り、労働機会が増えても「繁栄する日本経済、貧困化する日本人」社会になったら、これも恐ろしいことだ。日本人が豊かにならなくてはならない。そのためには、どんなアプローチがあるか。

3 9 一味違うウェブ検索

第三十九話 統計数値に注意する⑤

医療事故の本当の数値は？

ぐうのうえぶへい

医療不信、医療崩壊という言葉が日常に使われるようになって久しい。その背後には、医療に関わる事故や事件の実態が不透明になっていることが挙げられる。今回は、医療事故に関する統計や数値の読み方について、注意を喚起したい。

4 1 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまちヒロ

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリニティ研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記
第二章 aism情報セキュリティマシントリニティ研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2012年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売れない企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開港手続の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム乗組の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍乗組所帯と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開港手続とハンタツ
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番乗組員
第八章 米軍チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 乗組員の一日、訓練、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、異なる三人組	第二十章 乗組員の二 安室乗組と北米センター乗組

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp